



一般財団法人

札幌市交通事業振興公社

路面電車運転手の働き方

札幌市電の顔として「安心」と「感動」を笑顔にのせて、人・街・地域の暮らしをつなぐ「路面電車運転手」の業務の1日の流れの例をご紹介します。

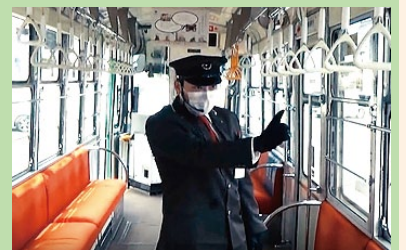
出勤点呼

出勤したら、必ずアルコール検査を行います。
健康状態の確認、当日の乗務に必要な業務指示、注意事項の説明を受けて出発します。



出庫点検

出庫させる車両に異常がないか確認を行います。



乗務

乗務点呼により必要な確認を行ってから乗務します。
乗務中は安全運転に努めるだけでなく、ICカードのチャージ、乗車券の販売、沿線の地理案内等も行います。
1乗務は約2時間（路線2周）で、1日3乗務（計6周）が基本パターンとなります。1乗務を終えて降車する度に、降車点呼により運転中の異常の有無を報告します。



休憩

運転手の勤務シフトにはいくつかのパターンがありますが、1乗務（路線2周）ごとに休憩を挟みます。
休憩は、食事をしたり、同僚と談笑をしたりして過ごします。

入庫

車両を電車事業所に入庫させ、車内の確認を行います。
その後、所定の位置に車両を留置します。



退勤点呼

1日の売上精算、業務報告、翌日の勤務シフトを確認します。
これで1日が終了となります。お疲れさまでした。





一般財団法人

札幌市交通事業振興公社

路面電車技術係員について

Point 1 路面電車の技術係員の業務部門について

路面電車の技術部門には、電路・線路・車両の3部門があります。

Point 2 路面電車技術係員の業務内容・形態について

路面電車技術係員の業務は、協力会社と一丸となって施設や車両の保守管理を行うものです。仕事の進め方の基本パターンは、軽微な作業や事故等の緊急対応を除き、点検や修繕は協力会社に依頼し、その作業内容を確認・検査するものとなります。

勤務時間は、8時30分～17時30分となります（時間外勤務・休日勤務あり）。

- ・入社してすぐに保守に必要な技術や知識を求められることはありません。
- ・座学や現場研修を通して必要な技術を身に付けられます。
- ・日勤職場で変則勤務ではありませんが、作業内容によっては終電後の作業となるため夜間勤務（夜間立会）があります。

Point 3 電路部門の仕事について

電路部門は、路面電車へ電力を供給する設備や、路面電車の安全確保に欠かせない信号保安設備の保守管理を行っています。

架線に異物が絡まる等の事故発生時には、協力会社の方と共に現場へ急行して復旧作業を行います。



Point 4 線路部門の仕事について



線路部門は、路面電車の線路と停留場の保守管理を行っています。線路は路面電車の走行の安全性や乗り心地にも大きく影響するため、ミリ単位での管理が要求されます。

なお、普段はアスファルトに覆われているため見ることはできませんが、一般的な鉄道と同様に線路の下には枕木も使用されており、レールと共に保守管理を行っています。

Point 5 車両部門の仕事について

車両部門の仕事は、車両・車庫・整備工場の保守管理を行うものです。

路面電車は非常に多くの部品で構成されているため、「機械グループ」と「電気グループ」に分かれて車両の細部にわたって点検を行うことにより、安全運行を確保しています。

